

<p>① 提案（テーマ） 地域を見つめて、ふるさとを発信しよう</p>	<p>② 学校・グループ名</p>
	<p>度会町立度会中学校・文化部</p>
	<p>③ 名前</p>
<p>④ 提案の理由 地域のことを私たち自身がよく知っておらず、普段あまり気にすることはありません。地域のことを見つめていくことで、住んでいる私たちが地域のよさを知り、受け継いでいける社会にしていきたいと思ったからです。</p>	
<p>⑤ 取組内容</p> <p>地域のことを知るために、私たちの住む度会町の「いろはかるた」を作ることになりました。まず、いろは47文字+「京」の計48文字のいろはかるたに習って、読み札を考えることから始めました。それぞれの始まりの文字から地域に関することを連想して各自が作成していきました。インターネットや町のパンフレットなども参考にしました。そして、各自が考えたものを出し合い、どれを採用するかを話し合いました。同じ題材が重ならないようにしたり、できるだけたくさんの地域のことを入れたり、ということに気をつけました。度会町の自然や風景、名産品、食材、歴史、建物、人物、学校、スポーツ、店など、さまざまな観点から見つめてみました。</p> <p>苦労したことは、後半になるにつれて、題材が重なってしまったり、何を書いたらいいのかアイデアが浮かばなくなってしまうことでした。なかなか決まらない読み札もありました。少し無理矢理作ってしまった札もありました。最後までアイデアが浮かばなかったものは、みんなで度会町のことを再度考え、言葉を出し合い作り直しました。最終的に全体のバランスを確認し、作り直したものもありました。</p> <p>取り札は、読み札に合うような絵を、担当を決めて描いていき、「度会町いろはかるた」が完成しました。</p> <p>その後、地域に発信したいと考え、その第一歩として児童館に出向き、小学生にカルタを紹介し、実際にカルタ取りを行いました。カルタをしながら、「この場所知ってる？」とか「この食べ物食べたことある？」とか町の話にふれたりして交流を深めました。小学生が楽しそうにしてくれて、行ってよかったと思いました。</p>	

⑥ 取組の成果（期待される効果）

よかったことは、かるたを作ることで、今まで知らなかった地域の名所や伝統などを知ることができて、地域への関心が高まったことです。小学生との交流も行い、発信することもできました。これから、文化祭で発表や展示をして、他の人たちにももっと知ってもらい、ふるさと度会町のことを発信していきたいと思っています。

「中学生からの提案・発信」 写真【度会中学校】

(1) 度会町いろはかるた



(2) 地域への発信（児童館での小学生との交流）

